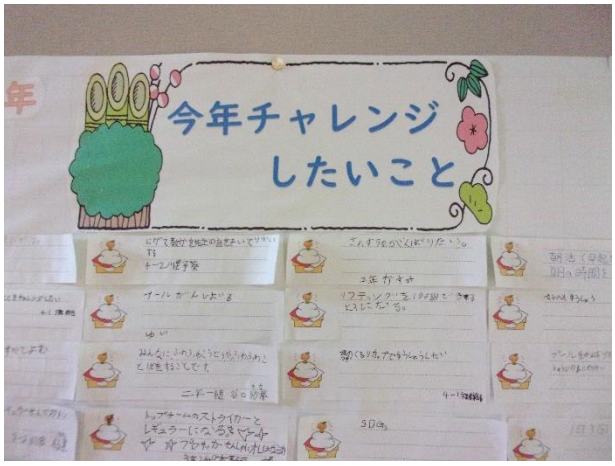
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ36

1月 今日の一言

５．１．１９　校長　渕上　卓也

「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」



先日、階段を昇っていると、広報委員会の子どもたちが掲示してくれた「今年チャレンジしたいこと」を眺めている滑石っ子がいました。「いろいろなチャレンジしたいことがあるね。」と、私が声を掛けると、その子が「『ふわふわ言葉』にチャレンジする人がいるよ。」と教えてくれました。「ふわふわ言葉」を使うことが、学校生活にとても大切なことだと感じてくれている滑石っ子がいることを嬉しく思いました。教えてくれた滑石っ子には、「『ふわふわ言葉』のことを書いてくれたお友だちも偉いと思うけれど、『ふわふわ言葉』のことを書いていることに気付いてくれたあなたも偉いね。」と声を掛けた次第です。

お家の方は「ふわふわ言葉」って、ご存知ですかね。言われたら嬉しくなったり、元気になったりする言葉のことです。「ありがとう。」「ごめんね。」「すごいね。」「大丈夫？」「よろしくね。」「一緒に遊ぼう。」・・・ここに文字を入力しているだけでも、心が晴れやかになってきますね。

その反対が、「ちくちく言葉」です。言われると嫌な言葉、言われた人はもちろん、言った人も自分の心を傷付けてしまいます。傷付きたくないので、どんな言葉かは載せませんので、想像してみてください。ゲームやアニメの暴力的な表現を、無意識に発してしまう子どもたちが増え、頭を悩ましている昨今の学校現場です。

「なかまに　めぐまれた　しあわせな　滑石小学校」には、「ちくちく言葉」は似合いません。「ふわふわ言葉」いっぱいのしあわせな空間こそが、滑石小学校のめざす姿です。滑石っ子みんなもチャレンジしていきますよ。

＜今日の一句＞

つい「ちくちく言葉」を言ってしまった時

「ごめんね。」も
「ふわふわ言葉」の
なかまです　　卓也